

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-35℃～ + 85℃ (注1)	保存温度範囲	-10℃～ + 60℃ (注2)			
	電 圧	AC 50 V	適合コネクタ	DF17#(**)-*DP-0.5V (57)			
	電 流	0.3 A					
性 能							
	項 目	試 験 方 法	規 格			QT	AT
構造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。	図面と合致していること。			○	○
	表示	目視にて確認する。				○	○
電氣的 性能	接触抵抗	100 mA(DC又は 1000 Hz)で測定する。	60 mΩ 以下			○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。	500 MΩ 以上			○	—
	耐電圧	AC 150 Vの電圧を 1 分間印加する。	せん絡・絶縁破壊がないこと。			○	—
機械的 性能	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。 ⚠	極数	挿入力 (N) 以下	抜去力 (N) 以上	○	—
			20	20.0	2.0		
			26	26.0	2.6		
			30	30.0	3.0		
			40	40.0	4.0		
			50	50.0	5.0		
			60	60.0	6.0		
			70	70.0	7.0		
			80	80.0	8.0		
	繰り返し動作	50 回の抜き差しを行う。	①接触抵抗 : 60 mΩ 以下 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
耐振性	周波数 10～55 Hz、片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 2 時間試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
耐衝撃性	加速度 490 m/s ² 、持続時間 11 ms、 正弦半波 3 方向 各 3 回試験する。	① 1 μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—	
環境的 性能	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃、湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。	①接触抵抗 : 60 mΩ 以下 ②絶縁抵抗 : 250 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 5～35 → 85 → 5～35℃ 時間 30 → 10～15 → 30 → 10～15分 を 5 サイクル 試験する。	①接触抵抗 : 60 mΩ 以下 ②絶縁抵抗 : 500 MΩ 以上 ③破損、ひび、部品のゆるみがないこと。			○	—
	半田耐熱性	【 リフロー半田付けの場合 】 《 リフロー部 》 MAX 250℃ピーク 220℃以上 60 秒 以内 《 予熱部 》 150～180℃ 90～120 秒 リフローは同条件にて2回まで可能 【 手半田 (リペア) の場合 】 半田ごてで 350℃、3秒の条件にて半田付け を行う。但し、端子に力を加えないこと。	外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。			○	—
	二酸化硫黄	濃度10ppm、96時間放置する。 (試験規格 : J E I D A - 3 9)	①接触抵抗 : 60 mΩ 以下 ②はなはだしい腐食がないこと。			○	—
	塩水噴霧	濃度 5 %の塩水、48 時間放置する。	①接触抵抗 : 60 mΩ 以下 ②はなはだしい腐食がないこと。			○	—
備考							
(注1) 通電時の温度上昇を含みます。							
(注2) 保存とは基板搭載前の未使用品に対する長期保管状態を表し、基板搭載後の無通電状態は、使用温度範囲が適用 されます。エンボス梱包仕様時の保存温度範囲には-10～+50℃となります。							
試験規格の記載のない試験方法は J I S C 5 4 0 2 を適用している。							
	△の数	訂正記事	設計	検図	年月日		
⚠	1	DIS-H-00003088	SH. HOSODA	TS. MIYAZAKI	17. 09. 29		
			承認	KH. IKEDA	05. 08. 26		
			検 図	AR. TAKAHASHI	05. 08. 26		
			担 当	YH. MICHIDA	05. 08. 24		
			製 図	YH. MICHIDA	05. 08. 24		
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目			図番	ELC4-162129-07			
HRS	製 品 規 格 表		製品名	DF17B (3. 0) -*DS-0. 5V (57)			
	ヒロセ電機株式会社		製品コード	CL683	⚠	1/1	